令和３年度

学校法人高水学園
事業報告書

令和４年５月24日　理事会決定

1　法人の概要

(1) 建学の精神

学校法人高水学園は、明治初年、熊毛郡高水村(現周南市)に開設された磨鍼塾を源流とする。村塾以来一貫した建学の精神は、「徳性の陶冶」と「楽学」の実践にあり、勤労を尊び生活は質素であるべきことを教育の指導理念としてきた。今後もこの建学の精神を継承していき、さらに広い世界観に立つ教育を実践していく。

(2) 法人の概要

明治	31 年	4 月	山口県高水村新町に就業年限2ヶ年の高水村塾を創設
	32 年	11 月	私立学校令発布により塾則を制定
大正	9 年	7 月	修業年限5ヶ年に延長し高水中学と改称
	12 年	3 月	財団法人山口県高水中学校に移行
昭和	23 年	4 月	学制改革により山口県高水高等学校に移行、併設中学校は付属中学校と改称
	26 年	3 月	学校法人山口県高水高等学校設立
	27 年	4 月	全日制商業科設置
	29 年	4 月	岩国市に学校移転
	34 年	4 月	校名を高水高等学校・同付属中学校と改称
	35 年	4 月	高水高等学校家政科を設置
	46 年	4 月	法人名を高水学園と改称、岩国短期大学(幼児教育科、英語科)を設立
	51 年	3 月	高水高等学校家政科を廃止
	56 年	11 月	岩国短期大学創立10周年記念式典挙行
平成	10 年	10 月	学園創立100周年記念式典挙行
	13 年	4 月	岩国短期大学にビジネス実務科設置
	14 年	3 月	岩国短期大学英語科を廃止
	18 年	4 月	ビジネス実務科をキャリアデザイン学科に名称変更
	20 年	4 月	高水高等学校付属中学校と高水高等学校の一貫教育の施行(学則に規定化)
	25 年	3 月	岩国短期大学キャリアデザイン学科廃止
	30 年	4 月	学園創立120周年
令和	3 年	4 月	岩国短期大学創立50周年

(3) 設置する学校学科の名称・設立月・所在地

令和3年5月1日現在

学　校　名	設立年月	所　在　地
岩国短期大学	昭和46年4月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号
高水高等学校	昭和26年3月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号
高水高等学校付属中学校	昭和26年3月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号

(4) 設置する学校学科の入学定員と学生生徒数(単位：人)

令和3年5月1日現在

学校名	学科名	入学定員	入学者数	収容定員	学生数
岩国短期大学	幼児教育科	70	61	140	127
高水高等学校	普通科	280	145	840	489
高水高等学校付属中学校		70	31	210	86

【教職員の概要 専任(非常勤)】(単位：人)

令和3年5月1日現在

学校名	教員数(非常勤)	職員数(非常勤)	合計(非常勤)
岩国短期大学	12 (22)	9 (6)	21 (28)
高水高等学校	41 (10)	7 (0)	48 (10)
高水高等学校付属中学校	8 (1)	0 (1)	8 (2)

(5) 役員等の概要

（令和3年5月1日現在）

● 理事の就任年月日

定員数　理事8名、監事2名

区　分	氏　名	常勤・非常勤の別	経　歴（役割）	就任	
				就任年月日（重任年月日）	届出年月日（登記年月日）
理事長	宮　川　明	常勤	高水学園理事長	平成12年12月7日 (R2.6.1)	平成24年10月31日 (H24.10.22)
常務理事	宮　川　洋	常勤	高水高等学校 (財務担当)	平成16年10月13日 (R2.6.1)	平成24年10月31日 (H24.10.22)
理　事	加　藤　善　美	常勤	岩国短期大学学長(教学)	平成25年4月1日 (R2.6.1)	平成25年4月9日
理　事	前　田　茂　雄	常勤	高水高等学校校長(教学)	平成23年4月1日 (R2.6.1)	平成24年10月31日
理　事	中　村　洋　子	常勤	岩国短期大学副学長兼事務長 (財務担当)	令和3年4月1日	令和3年4月1日
理　事	松　原　一　誠	非常勤	錦ドリーム開発取締役 (広報担当)	平成17年4月1日 (R2.6.1)	平成24年10月31日
理　事	冨　沢　佐　一	非常勤	前中国新聞社客員編集委員 (広報担当)	平成24年10月13日 (R2.6.1)	平成24年10月31日
理　事	舘　澄　子	非常勤	高水学園同窓会副会長 (教学指導担当)	平成27年4月1日 (R2.6.1)	平成27年4月1日

● 監事の就任年月日

区　分	氏　名	常勤・非常勤の別	就任	
			就任年月日（重任年月日）	届出年月日
監　事	村　元　真　澄	非常勤	平成27年12月10日 (R2.6.1)	平成27年12月14日
監　事	稗　本　哲　也	非常勤	平成31年3月1日 (R2.6.1)	平成31年3月1日

(6)評議員の概要　　（令和3年5月1日現在）

（定員数17名）

氏　名	主な現職等	就　任	
		就任年月日	重任年月日
宮川　明	理事長	令和3年4月1日	
宮　川　洋	常務理事	平成17年4月1日	令和2年6月1日
加　藤　善　美	理事	平成29年3月2日	同　上
前　田　茂　雄	理事	平成23年4月1日	同　上
中　村　洋　子	理事	平成28年10月13日	同　上
松　原　一　誠	理事	平成12年10月13日	同　上
冨　沢　佐　一	理事	平成16年10月13日	同　上
舘　澄　子	理事	平成12年10月13日	同　上
宮　本　剛	高水高等学校付属中学校長	平成27年4月1日	同　上
西　村　宏	高水学園同窓会副会長	平成22年4月1日	同　上
渡　辺　耕　而	元高水高等学校付属中学校長	平成20年3月1日	同　上
吉　岡　賢　一	高水学園同窓会副会長	平成15年7月16日	同　上
長　尾　泰　子	元高水学園嘱託	平成12年10月13日	同　上
玉　田　和　子	錦病院理事	平成16年10月13日	同　上
松　本　泰　行	元高水高等学校教頭	平成28年10月13日	同　上
那　須　理　恵	日本私立学校振興事業団　非常勤職員	平成27年12月10日	同　上
河　本　智　勇	高水高等学校事務長	令和2年6月1日	

(7) 校地校舎等の状況

① 校地等

（令和3年5月1日現在）

区分	（学校名） 岩国短期大学			高水高等学校・中学校			合計		
	専用	共用	計	専用	共用	計	専用	共用	計
所有	㎡ 34,551.00	㎡	㎡ 34,551.00	㎡ 131,822.00	㎡	㎡ 131,822.00	㎡ 166,373.00	㎡	㎡ 166,373.00
借用			0.00			0.00			0.00
合計	34,551.00	0.00	34,551.00	131,822.00	0.00	131,822.00	166,373.00	0.00	166,373.00
最終届出年月日	H21 年 12 月 28 日			H10 年 2 月 3 日			年 月 日		

② 校舎等

区分	岩国短期大学			高水高等学校・中学校			合計		
	専用	共用	計	専用	共用	計	専用	共用	計
所有	㎡ 8,705.00	㎡ 0.00	㎡ 8,705.00	㎡ 18,482.00	㎡ 0.00	㎡ 18,482.00	㎡ 27,187.00	㎡ 0.00	㎡ 27,187.00
借用									
合計	8,705.00	0.00	8,705.00	18,482.00	0.00	18,482.00	27,187.00	0.00	27,187.00
最終届出年月日	H17 年 5 月 31 日			H29 年 7 月 13 日			年 月 日		

Ⅱ.事業の概要

■【法人全体】

文部科学省の「ICT 教育整備事業」「学校保健特別対策事業」等に参画した。また、教育振興寄付金活動には継続して取り組み外部資金の獲得に努めた。

■【短期大学】

Ⅰ. 事業報告

1. 保育のスペシャリストを養成し、地域に信頼される特色ある短期大学づくり

本学の建学の精神は、「楽学」である。この建学の精神「楽学」に基づき、教育理念と幼児教育科の教育目的を次のように定めている。

＜教育理念＞

・特性の陶冶を重んじ、人間性を練り鍛え、豊かな人間形成を図る。

・地域に生きて働く人材を養成する。

＜幼児教育科教育目的＞

保育に関する実践的な知識と技能を協働的な学びの環境において主体的に習得し、課題解決能力と創造力、コミュニケーション能力を会得させ、ボランティア活動などの地域貢献を通して敬愛の精神の練成を図り、学生自らの徳性の陶冶を通じて保育者としての使命感を持ち、社会的に有為な人物となるように教導することを教育目的とする。

建学の精神に基づく教育目的を達成するために、幼稚園教諭二種免許状、保育士資格の取得、それに伴う身につける資質・能力を 4 つの学習成果として定め、保育のスペシャリストの養成を念頭に、学生にその自覚と意識を常に覚醒させるべく具体的な教学活動を実施していく。

【幼児教育科の学習成果】

保育者としての専門的な知識と技能	・保育者としての専門的な知識や技能を習得している。 ・保育現場で生かす実践力が身についている。
表現力とコミュニケーション能力	・音楽・造形・身体表現等の基本的な技能を身につけ豊かに表現することができる。 ・他者との円滑なコミュニケーションを図りながら、問題を解決することができる。 ・社会人として求められるコミュニケーション能力や、基本的な礼儀作法を身につけている。
責任感と協力性	・授業や行事等に積極的にかかわり、一つの目標に向かって協働して取り組むことができる。
地域貢献と敬愛の精神	・ボランティア活動や行事への積極的な参加を通して地域社会に貢献することができる。

その他、基礎科目において、高等教育における基礎的学力を保証するために、基礎ゼミナールを開設し、教養科目においては幼児教育を包括的に支える講義内容を提供する。これらの教養教育を通じて正しい人生観と開かれた社会性を持った職業人として生きる誇りと自覚を与える。

本年度の最優先課題は、学生募集であり、幼児教育科単科の短期大学として山口県東部地区における地域の活性化に貢献する地域貢献事業を展開していくことである。この事業展開の中で地域の本学における認知度を向上させ、本学への進学率を高めることと、地元保育関係者の本学への信頼に基づく就職などの協力体制をさらに強化していくことをめざす。

地域貢献事業は、次の項目を中核として展開していく。

◆「岩国子育て支援ネットワーク(Iwatan 子育て愛ねっとアカデミー)」の事業の推進
◆岩国市、岩国商工会議所との連携協定の事業の推進
◆高大連携協定校との事業の推進

時代の変化は厳しいものがあるが、本学は単科の短期大学として他に類を見ない事業展開を通じて、18歳人口の減少が続く少子化社会の中で、その真価を発揮して地域に根付き、地域に生きて働く人材を養成していく。

さらに、本年度は、ICT(Information and Communication Technology(情報通信技術))教育の推進を行う。知識や情報をインターネットでいくらでも手に入れられるようになった今、膨大な知識や情報の中から必要なものを主体的に選び取り、活用できる「情報活用能力」や「創造力」の育成が急がれている。本学でも、パソコンやタブレット端末、プロジェクターや、学習用のソフトウェア等を活用した教育を推し進め、21 世紀型スキルへの対応を図っていく。また、新型コロナウイルス感染症禍の現状を受け、オンライン授業は不可避である。そのメリットとデメリットを考慮しながら、本学のICT教育の構築をめざし、取り組んでいく。

本年度の具体的な取り組みは、次の事業内容に記す。

Ⅱ.事業内容

1. 質の高い教育の実践と地域密着の短期大学

(1)保育のスペシャリストを養成

【保育者としての専門的な知識と技能】

① 「お店屋さんごっこ(1 年)」-「大学祭・キッズルーム(1 年)」-「Iwatan 親子フェスタ(1・2 年合同)」の系統的な実施

上記に挙げる行事等を通して、2 年間のスパンで系統的に保育実践力の育成に努めている。本年度も昨年度に続き新型コロナウイルス感染症対策のため、次のように変更して実施した。

・「お店屋さんごっこ(1 年)」.....「いわたんおもちゃおとどけ便」に変更して実施。
・大学祭での「キッズルーム(1 年)」.....外部を招いての当日祭は中止としたため、実施しなかったが、非公開の前日祭で劇発表を行った。
・「Iwatan親子フェスタ(1・2 年生合同)」.....Web版「Iwatan親子フェスタ」に変更して実施。

② 教育・保育実習の充実

専門性が高く保育実践力のある保育者を養成するために、「模擬保育」「1・2 年生合同学習会」「実習事前指導(絵本 100 冊読み等の取り組み、保育現場でよく使う漢字テスト、手遊び歌、パネルシアター、素話等)「実習評価 1・2 学生への個別指導」「自主実習の推奨」等の取り組みを行った。なお新型コロナウイルス感染症対策の観点から「施設実習連絡協議会」はリモートで実施し、「教育・保育実習連絡協議会」は、中止とした。

③ 就職支援の充実

・ようこそ先輩！保育実践力養成講座(保育所編)、ようこそ先輩！保育実戦力養成講座(幼稚園・認定こども園編)、・ようこそ先輩！保育実践力養成講座(施設編)の講座の実施

「ようこそ先輩！保育実践力養成講座」を開講し、保育・福祉現場で活躍している卒業生を講師として招き就職体験講話・ピアノの弾き歌い・ワークショップ等をとおして、保育実践力や学生の就職意識が高まっていくように努めた。

令和 3 年度「ようこそ先輩！保育実践力養成講座」

回	月　日	対 象	講　　師
第 1 回	令和 3 年 5 月 21 日(金)	2 年生	なごみ保育園勤務 川﨑 世梨菜先生(平成 29 年度卒)
第 2 回	令和 3 年 9 月 24日(金)	2 年生	認定こども園岩国東幼稚園勤務 小川 和奈先生(平成30 年度卒)

第３回	令和３年12月17日(金)	１年生	広島新生学園勤務 正化 美咲先生(平成27年度卒)

・現職園長による面接指導講座

認定こども園の園長を招き、面接での注意点などを直接指導していただいた。

・就職支援システムの推進(「プレカレッジ」ー「新入生合宿研修」ー「基礎ゼミナール」ー「キャリア開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」ー「教職実践演習研究発表」ー「フォローアップセミナー」ー「卒業後３年目のキャリアアップ研修」において入学前から卒業後までの一貫した就職支援の実施)

支援センターが主体となり、全教職員で職業教育を行った。主な取り組みは次のとおりである。

＊入学予定者を対象とした「プレカレッジ」

＊入学直後の「新入生研修会」、１年生前期「基礎ゼミナール」、１年生後期、２年生前後期の「キャリア開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」等による職業教育

＊２年生前期に現職園長による面接指導講座

＊卒業後３か月目に「フォローアップセミナー」、「卒業後３年目のキャリアアップ研修」を新型コロナウイルス感染症対策の観点からリモートでの開催に変更した。

・就職ガイダンス、東部校訓練生の受け入れと就職ガイダンスの実施

全学生に対して、１年次には、「入学時オリエンテーション」「基礎ゼミ」「後期オリエンテーション」「キャリア開発Ⅰ」、２年次には「前期オリエンテーション」「キャリア開発Ⅱ」「キャリア開発Ⅲ」の授業の中で、就職ガイダンスを行い、本年度も就職率100%を達成した。

例年、山口県立東部高等産業技術学校の保育士養成科の訓練業務及び就職支援業務委託制度を利用した社会人を受け入れている。年に３回の就職ガイダンスを実施し、日々保育職への就職支援を行い、全員就職できた。

・就職面談、面接指導の実施

キャリア支援センター職員が進路希望調査に基づき、全学生を対象に１回20分程度の就職個人面談を行っている。ネットでの面談予約システムを取り入れ、学生が利用しやすいように改善を図っている。また学生が積極的に自分自身の就職活動を進めていくために、報告・連絡・相談を重視した支援を行った。２年生一人当たりの利用回数の平均は10.5回の高い利用率となり、学生の就職希望先への内定へと繋がった。

・試験対策講座の実施

山口県私立幼稚園協会、岩国私立幼稚園協会等ごとに実施する適性試験の対策として、就職試験対策講座を次のとおり計画し開講したが、新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン授業となった期間は実施できなかった。

令和３年度　山口県・岩国私立幼稚園教員採用試験対策講座

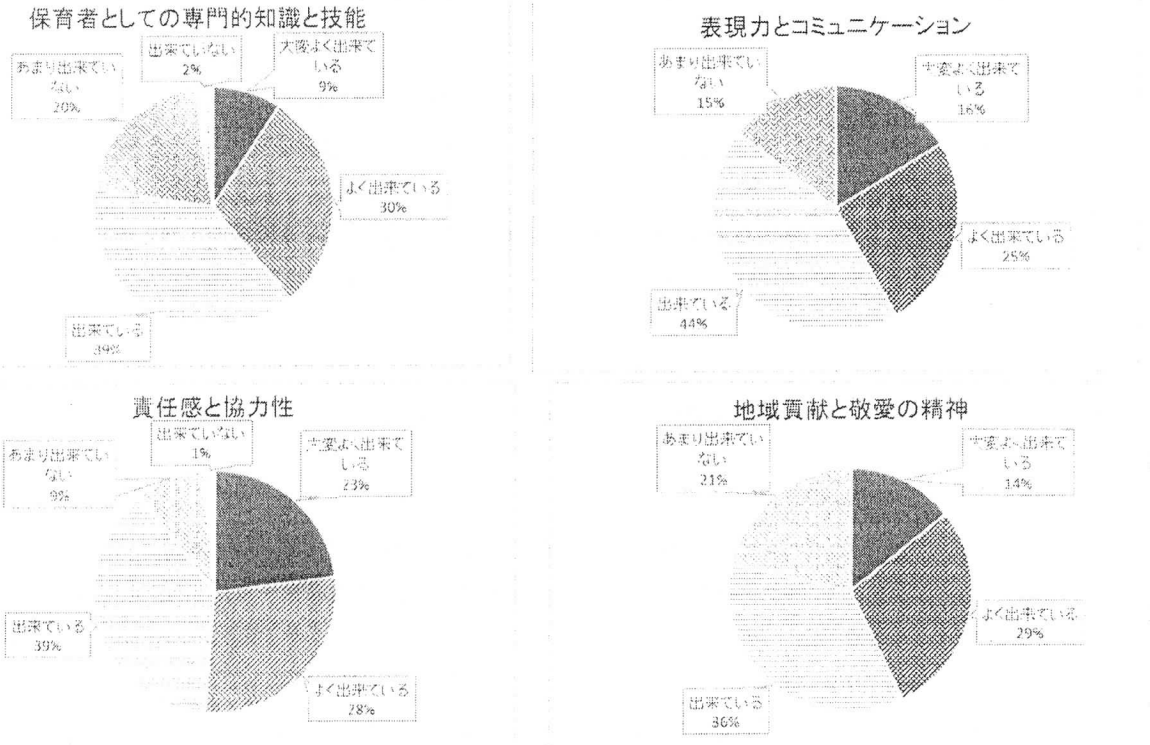
月　日	曜	時　間	内　容	対象	担　当
４月９日	金	５限	就職試験に向けての説明会	全員	佐々木
４月16日	金	５限	数的理解	全員	竹野
４月21日	水	５限	教育行政について	全員	正長
４月30日	金	５限	人間関係	全員	荒谷
５月７日	金	５限	幼稚園教育要領、幼稚園の先覚者重要用語	全員	富田
５月28日	金	５限	環境　　中止	全員	水鶏口
６月１日	火	５限	表現　　中止	全員	朝倉
６月18日	金	５限	身体表現(体育)	岩国市	西本
６月18日 ６月19日	金 土	提出	論作文の添削(希望者) 構成シート→下書き→提出添削→清書	全員	宮下

6 月 22 日	火	授業内	岩国私立幼稚園試験直前確認課題曲 （ピアノ実技模擬試験）	岩国市	井上
6 月 22 日	火	5 限	表現講座 課題を下書き→添削→清書	全員	半

・卒業生就職先アンケートの実施による教育・就職支援の改善

教育・就職支援の自己点検・評価活動のために、卒業生就職先へのアンケートを実施している。本学の学習成果「保育者として専門的な知識と技能」に関すること、「表現力とコミュニケーション能力」に関すること、「責任感と協力性」に関すること、「地域貢献と敬愛の精神」に関する 22 項目無記名方式で、5 段階評価で回答を得た。アンケートの結果は、内容ごとに集計し、その結果を教授会等で報告し、全員で学習の成果の点検に活用した。

令和 3 年度卒業生就職先アンケート結果



・県内就職率向上のための取り組み（就職開拓訪問、「就職ナビ in いわたん」）

毎年、「就職開拓訪問」を実施している。新卒者の就職先を訪問し、卒業生との面談をとおして状況を把握したり、園長等から本学への要望等を聴取したりすることで連携を深め、就職に繋げている。本年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から対面での実施を中止とし、電話での聴取とした。

「就職ナビ in いわたん」を県内東部地区の幼稚園・保育所・認定こども園・施設の合同説明会へ拡充したが、本年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から対面での実施を中止とし、「Web 版就職ナビ in いわたん」を実施した。直接説明を受けられず応答的なことはできなかったこと等のデメリットはあったが、メリットとしては Web 上での掲載を令和 3 年 9 月末までとしたことで、学生が繰り返し視聴することができ、情報を幅広く得ることができ分析に役立った。また保護者と一緒に閲覧でき、就職相談することに生かされ、県内の就職率アップへと繋がった。

【表現力とコミュニケーション能力】

① ウィンターコンサート、卒業記念コンサート等の実施

ウィンターコンサート、卒業記念コンサート等の実施により、表現力の育成に努めている。本年度のウィンターコンサートは、全学生がクラスごとに協力して練習に取り組み、表現技術を高めながら演奏発表を行った。また、学位記授与式では、2 年ぶりに卒業記念コンサートを開催し、選抜された学生による演奏発表を行った。

② 南岩国駅での学生作品「壁面装飾 12 ヶ月」の掲示

本年度は実施することができなかった。

③ 現場に即した幼児体育の模擬授業や 1･2 年生合同運動会、1･2 年生実習合同学習会等

「幼児体育Ⅰ・Ⅱ」の授業で、幼児体育の模擬授業や1･2 年生合同運動会の取り組み等、現場に即した内容を多く取り入れ、実施している。本年度もチームごとに他者とのコミュニケーションを図りながら創意工夫を行い、大きな成果が見られた。

④ 「クリエイティブ･ムーブメント」では本学独自の自己表現力育成教育の推進

本年度は、コロナ禍による対面授業の制限の中、自己表現の方法や意義、コミュニケーション能力の向上をめざし、授業以外でもオープンキャンパスの学科紹介や清流祭の劇発表で成果が見られた。

⑤ 中･四国保育学生研究大会への参加

本年度は対面での中･四国保育学生研究大会は行われず、参加できなかった。

【責任感と協力性】

① 岩国子育て支援ネットワーク(Iwatan 子育て愛ねっとアカデミー)の授業の充実

系統的に実施している「お店屋さんごっこ(1 年)」(本年度は形態を変え、「おもちゃおとどけ便」実施)-「大学祭･キッズルーム(1 年)」(本年度は実施できず)-「Iwatan 親子フェスタ(1･2 年合同)」(本年度は Web 開催)での協働的な行事では、グループ活動を通して、一つの目標に向かって協働して取り組むことができた。また、1･2 年生合同運動会、1･2 年生実習合同学習会等の協働的な学習でも、責任感と協力性を培っている。

② 中･四国保育学生研究大会への参加

本年度は対面での中･四国保育学生研究大会は行われず、参加できなかった。

【地域貢献と敬愛の精神】

① 岩国子育て支援ネットワーク(Iwatan 子育て愛ねっとアカデミー)の事業の充実

例年、岩国子育て支援ネットワーク(Iwatan 子育て愛ねっとアカデミー)は、岩国市と共同開催する「保育者対象研修会(年 2 回)」、「Iwatan 親子広場(年 6 回)」と 3 月に開催する「Iwatan 親子フェスタ」の事業を展開している。

本年度の事業内容は次のとおりである。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、第 11 回「Iwatan 親子フェスタ」は、昨年に引き続き Web による開催とした。

･Web 版第 11 回「Iwatan 親子フェスタ」

○視聴期間･･･令和 4 年 3 月 6 日(日)～3 月 31 日(木)

○動画･････････岩国市長挨拶、岩国商工会議所青年部挨拶、学生制作動画等 58 動画を配信

･「Iwatan 親子広場」の開催(年間 6 回)

■令和 3 年度「Iwatan 親子広場」実施状況及び参加者数

回	日時及び講師	講 座 名	学生ボランティア(人)	参加親子(組)	保護者(人)	子ども(人)	合計(人)
1	5 月 22 日(土) 10:00～11:30 講師:岩国短期大学 朝倉 なぎさ	親子でワクワク表現遊び ～なりきり遊びを楽しもう～	9	新型コロナウイルス感染症対策のため Web 開催			
2	6 月 14 日(月) 10:00～11:30 講師:岩国短期大学 正長 清志	親子でパラスポーツに 挑戦しよう ～風船バレー、ボッチャ～	12	2	2	4	6
3	9 月 25 日(土) 10:00～11:30 講師:岩国短期大学 井上 美佳	元気に親子 de リトミック	11	新型コロナウイルス感染症対策のため Web 開催			

4	10月23日(土) 10:00～11:30 講師:岩国短期大学 西本　裕子	できた！やったー！ 運動遊び	11	7	7	12	19
5	11月3日(水・祝) 10:00～11:30 講師:岩国短期大学 半　直哉	創造力を育てるあそび ～ミニ・インドア　アスレチック～	15	13	14	20	34
6	12月18日(土) 10:00～11:30 講師:岩国短期大学 富田　雅子	表現遊び ～ようこそ絵本の世界へ～	10	9	11	15	26
合　　計			65	31	33	51	84

・岩国市との共同開催による保育者対象研修会の実施(年間2回)

本学を会場とする岩国市との共同開催による保育者対象研修会は、年間2回開催予定で、全学生及び全教員も受講するよう計画をしたが、本年度も新型コロナウイスル感染症対策のため、岩国市との協議の上、中止した。

② 岩国市、岩国商工会議所との連携推進

岩国市との包括連携協定に基づき、岩国子育て支援ネットワーク(Iwatan子育て愛ねっとアカデミー)に関する事業を行い、連携推進を図った。第11回「Iwatan親子フェスタ」は、昨年に続き新型コロナウイルス感染症対策のためWebで開催した。また、岩国市長、岩国商工会議所青年部長の挨拶動画コンテンツ提供の協力を得た。なお、年1回行っている包括連携協定推進会議においては、岩国市の各部署との意見交換をし、事業推進にあたっては担当者同士の連携を密にして事業実施が円滑に行われるよう工夫し、岩国市子育てアプリや岩国市フェイスブックで各種行事を発信した。また、岩国市では、初めて本学学生が選挙の期日前投票立会人に従事した。

岩国商工会議所とは、例年、「岩国祭」に学生がボランティア参加し連携をしていたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となり、参加がとりやめになった。連携推進委員会では、本年度第11回「Iwatan親子フェスタ」のWeb開催について打ち合わせを行い、動画コンテンツの協力を依頼したところ、青年部の多くの会員事業所から昨年同様の協力が得られた。

③ 高大連携協定校との連携推進

令和3年度に、実施した高大連携協定校における出前授業の実施回数は次の通りである。

高大連携協定締結学校名	実施回数
山口県立岩国総合高等学校	3回
山口県立岩国商業高等学校	0回
山口県立高森高等学校	9回
山口県立熊毛北高等学校	2回
広島県立大竹高等学校	1回

また、協定校との推進会議の実施は次の通りであった。

高大連携協定締結学校名	実施日
山口県立岩国総合高等学校	令和3年10月29日、令和4年2月25日
山口県立岩国商業高等学校	令和3年10月26日
山口県立高森高等学校	令和3年10月27日、令和4年2月22日
山口県立熊毛北高等学校	令和3年10月14日
広島県立大竹高等学校	令和3年10月22日、令和4年2月22日

さらに、令和3年度においては新たに次の2校との高大連携協定を締結することができた。

新規高大連携協定締結学校名	協定締結日
山口県立熊毛南高等学校	令和４年３月23日
山口県立周防大島高等学校	令和４年３月24日

④　学生ボランティア活動の推奨

・「学生ボランティア活動記録」の記入

学生全員に「ボランティア活動記録カード」を配付し、ボランティア活動を記録するようにしている。ボランティアの活動時間数などにより表彰制度を設けているため、学生のモチベーションにもなっている。また、記録することでボランティア活動への意識づけとしても活用している。

・年間最低２回のボランティア活動の義務化

本学に依頼がある地域からのボランティアの他、１年生は、年間６回開催する「Iwatan 親子広場」に参加し、併せて年間２回以上のボランティア活動に参加することを義務化し、学生にうながしている。

ただし、本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、多くのボランティア活動が中止となった。 しかし、２年生のうち２回以上のボランティア活動への参加率は88%で、昨年に引き続き高い参加率を維持できた。

・宮川澳男賞、地域貢献奨励賞の表彰

宮川澳男賞・地域貢献奨励賞受賞学生の選出については、受賞候補となる学生として、46時間以上の地域社会への貢献活動に参加していることとしている。

宮川澳男賞２名、２年生受賞候補となる学生を、地域貢献奨励賞を受賞する学生から、２年間の在籍中、ボランティア活動に積極的であった学生を学位記授与式に表彰している。近年の実績は、次の表のとおりである。

■宮川澳男賞、地域貢献奨励賞受賞者数と割合の推移

	平成30年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度	
受賞者数 （宮川澳男賞２名を含む）	29人	43%	26人	44%	18人	45%	17人	39%

⑤　幼稚園免許状更新講習の実施

令和４年度中に免許状更新講習制が解消されることを受け、本年度は幼稚園免許状更新講習を開設しなかった。

⑥　生涯学習公開講座の開催（年２回）

・「保育者のための初級英語講座」の実施

本年度に開講を計画していたが、都合により次年度に順延することとなった。

・生涯学習公開講座

次のとおり計画した。前期の講座は新型コロナウイルス感染症の影響で一時中断し、再開した。終了日が８月下旬にまでずれ込んだが実施することができ、大変好評を得た、後期の講座については、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。

開講期	講座名	実施の有無
前期	楽しい声楽～歌曲からオペラアリア～まで	実施
	パソコン講座～Excel の関数を使ってみよう～	
	心と身体のときほぐし講座	
後期	パソコン講座～Word で作ろう～	中止
	楽しい音楽史～入門編～	

	救急法基礎講習と防災講座～いざという時の日赤救急法と防災	

⑦ 1･2 年合同集会の実施

1･2 年生との親睦を図り、敬愛の精神を育成するために年 5 回実施している。実施日内容は以下の通りである。

実施日	4 月 23 日(金)	5 月 29 日(土)	7 月 2 日(金)	10 月 8 日(金)	11 月 13 日(土)
内容	校歌指導 建学の精神とは	本学が目指す 学生像とは	障害者スポーツ レクリエーション	ミニインドア･ア スレチック	いわたん検定

(2)入学定員確保

① 魅力あるオープンキャンパスの実施

･オープンキャンパス強化プロジェクトの推進

月1回程度のペースで開催する OCP(Open Campus Project)会議(令和 3 年度 11 回開催)では、年間計画や年 8 回のオープンキャンパスの実施要項の策定を行っている。オープンキャンパスに参加した高校生、保護者の方に本学の良いところを理解していただくために、各回の内容を充実させ、より魅力あるものにするための協議を重ねている。実施後はオープンキャンパスニュースを作成し、学内(学生･教職員)へ発信している。

･年間 9 回のオープンキャンパスの実施

令和 3 年 3 月 20 日～12 月 18 日まで 8 回のオープンキャンパスを実施した。また、高水高校と連携し、8 月 7 日(土)の高水学園のオープンキャンパスの開催を含め、計 9 回実施することができた。

日程とテーマは以下のとおりである。

新型コロナウイルス感染対策を十分に行い、午前中に縮小し対面で開催した。6 月、11 月については新型コロナウイルス感染症防止の観点から Web での開催となった。

令和 3 年度オープンキャンパスの概要

回数	日程	テーマ	参加人数	キャンパスメイト
1	3 月 20 日(土)	いわたんで保育を学ぼう①	10 名	18 名
2	6 月 13 日(日)	Web いわたんで保育を学ぼう②		
3	7 月 10 日(土)	保育者の仕事大好き！	42 名	21 名
4	8 月　7 日(土)	保育のテーマパークいわたん	81 名	32 名
5	8 月　7 日(土)	高水高校オープンスクール	9 名	2 名
6	9 月 25 日(土)	幼児と一緒に遊ぼう！	37 名	18 名
7	10 月 23 日(土)	夢をかたちに･現役保育者を招いて	26 名	22 名
8	11 月 14 日(日)	Web 行ってみよう のぞいてみよう in いわたん		
9	12 月 18 日(土)	いわたんウインターフェス	6 名	20 名

･広報活動の充実(DMの活用、オリジナル缶バッジの配付、高校訪問等)

リクルート「スタディサプリ進路」をはじめ、さんぽう、キッズコーポレーション、ライセンスアカデミーなどの企業企画の媒体への参加、ケーブルテレビ「アイ･キャン」の番組 CM、岩国駅や南岩国駅への看板掲出、特色ある行事等の日刊記者クラブへの取材依頼などを行った。また、学校案内･学生募集要項･オープンキャンパスチラシを資料請求者、進路ガイダンス受講者、各指定校、高校訪問先に提供した。さらに、広報誌「愛宕山」10 号･11 号を作成して、様々な機会を利用して配布した。

オープンキャンパスの広報は、学校案内とともに配付する年間の開催案内のほか開催時期に合わせたダイレクトメール(DM)を発送して参加を促した。発送枚数は 6 月～3 月までの 7 回で約 4,500 通である。DM 発送後に参加予約が入ってくることが多く、今後も発送時期を考慮しながらこれを継続して

いくことが効果的である。

オリジナルデザインの缶バッジを作成し、教職員や学生、オープンキャンパス参加者に配付したりして保育分野の仕事の魅力を感じてもらえるようにした。また、イメージカラーで統一したポロシャツを作成してオープンキャンパスに参加した全教職員とキャンパスメイトが着用した。デザインの説明も加え、参加者に大変好評であった。

・表現力を生かした学生による学科紹介の取り組み

学生による学科紹介では、キャンパスメイトが授業を通して培った力を発揮し、参加高校生に本学の紹介を行っている。クリエイティブ・ムーブメント、図画工作、音楽や幼児体育などから内容をピックアップし、学生と指導担当教員で2か月前から計画、準備、練習を行っている。参加した高校生のアンケート結果を見ても、学びの成果を生かした学生による学科紹介は毎回好評を博しており、本学の良さを肌で感じてもらう絶好の機会となっていることが分かる。また、明るく生き生きと頑張っている学生と触れ合えることも、高校生や保護者にとっても貴重な機会となっている。

・現役の卒業生を招いてのオープンキャンパスの実施

第6回「夢をかたちに・現役保育者を招いて」では、本学の卒業生である現役保育者を招いて、実際の保育の現場での話や仕事のやりがいについて学ぶ機会を設けた。今回は、「保育者検定」というクイズ形式で行い、楽しみながら保育について大切なことを学ぶことができた。「保育者という仕事のイメージがより明確なものとなり、夢の実現に近づいたと感じた。」と参加高校生の感想があり、学生募集に繋がる内容となった。

② 本学独自の奨学金制度の拡充

・高大連携協定校に対する奨学金制度

高大連携協定校からの意欲ある学生を迎えるため「高大連携協定校奨学金」を整備しており、協定校在籍の生徒が学校推薦型選抜(指定校推薦)によって受験し、合格した場合には入学金を半額免除することとしている。令和3年度においては15名の受験者がこの奨学金の適用を受けた。

・指定校推薦校に対する奨学金制度

指定校から意欲ある学生を迎え入れるため、学校推薦型選抜(指定校推薦)成績優秀者奨学金を整備しており、令和3年度においては6名が成績優秀者としてこの奨学金の対象となった。

このうち、高校時代の評定平均値が4.5以上で入学金全額免除となった者が2名、そのほかの4名は4.0以上で入学金半額免除となっている。

・遠隔地出身学生に対する生活支援奨学金制度

遠隔地からの入学者を増やすため、「遠隔地出身学生生活支援奨学金」を整備しており、令和3年度においては、2名の学生がこの制度を利用して1ヶ月につき1万円の授業料免除を受けた。

このうち、1名は島根県吉賀町出身、もう1名は広島県呉市出身の学生であった。2名とも令和3年度をもって卒業し、就職している。

・経済的困窮家庭に対する修学支援奨学金

学費負担世帯の総合収入が300万円以下の家庭については授業料を半額減免する修学支援を行っている。令和3年度は前期後期合わせて8名の学生がこれにより授業料の減免を受けた。また、納入期限までに全額を払い込むことが困難な場合には分納・延納することができるようにしている。延納を申請した学生は13名、分納を申請した学生は8名であった。

・社会人の学び直しや就学を支援するための社会人進学支援奨学金

社会人の修学を支援するため、社会人選抜による入学者を対象に授業料を半額免除する社会人進学支援奨学金を整備している。令和3年度には対象となる学生が1名入学し、適用された。

・学業に優れた成績を収めている学生に対する岩国短期大学同窓会奨学金

学業に優れた成績を収め、資格を取得して就職をめざす優秀な学生を顕彰するため、2年次に同窓会から奨学金を支給している。令和3年度この奨学金支給の最終年度となったが1名の学生が受

給した。

③ 中・高大連携授業の推進

・「保育者をめざす高校生のための高大連携授業プログラム」のパンフレット配布と実施

保育・幼児教育の大切さや尊さ、保育の仕事に携わることの喜びを多くのを高校生に伝え、将来保育者をめざす高校生が増えることを願って、すべての専任教員が出前授業プログラムを準備し、「保育者をめざす高校生のための高大連携授業プログラム」パンフレットを作成して各高等学校に配付するとともに、高校訪問時には教員に対して出前授業の積極的な活用をお願いしている。これにより、高大連携協定校を中心に数多くの出前授業が実施できた。令和 3 年度においては中学校と高等学校を合わせて合計 27 回の出前授業を実施した。

・中大連携校の開拓

現在、中学校との連携協定を締結できているのは山口県立高森みどり中学校のみである。令和 3 年度、新たな連携協定校を開拓することはできなかった。協定締結には至っていないものの岩国市内の川下中学校とは出前授業を実施していたが、一昨年から新型コロナウイルス感染防止のため中断されたままとなっている。

・高水高等学校等の単位互換制度の新設

令和 3 年度より高水高等学校との単位互換制度が始動した。本年度は 11 名の高水高等学校 3 年生を本学科目等履修生として受け入れ、高水高等学校科目『幼児教育演習』と本学科目『音楽表現技術』との単位互換を行った。このうち、6 名の高水高等学校生徒が令和 4 年度の本学への進学を予定している。

・高水高等学校との推進協議会の推進（合同研修会、合同オープンキャンパスの実施）

高水高等学校との連携を深めるために、お互いの研修を案内する取り組みを行い、教育の推進及び教職員の資質向上を実施することができた。また、オープンキャンパスでは、魅力ある高水学園を中・高校生に感じてもらえるように、8 月に高水高等学校と同時開催で高水学園のオープンキャンパスを開催した。幼児教育に関心のある中学生が大学のオープンキャンパスに参加することで、中学生にキャリア教育として大学の魅力や保育者の魅力を伝えることができた。

令和 3 年度高水学園教職員合同研修会

月 日	内 容
8 月 5 日（木）	岩国短期大学・高水高等学校合同推進会議「SWOT 分析」
8 月 25 日（水）	経営・財務状況等経営改善に関する説明会
10 月 6 日（水）	高水高等学校 Google Classroom 研修会
2 月 15 日（火）	岩国短期大学ハラスメント研修会

（3） 教職員の資質向上

①FD 研修でのアクティブ・ラーニングによる授業改善等

令和 3 年度の FD・授業評価委員会の年間計画にもとづき研修を行った。

○学内研修会（幼児教育科）の実施について、

授業に ICT を導入した授業展開の実践例を中心に研修会を実施した。研修内容は次のとおりである。

回	研修名	実施日
第 1 回	著作権について	6 月 16 日（水）
第 2 回	領域「環境」－ICT 活用指導力充実に向けた取り組み－	7 月 14 日（水）
第 3 回	ICT を活用した保育実践（学外講師による講義）	9 月 8 日（水）
第 4 回	ICT 活用に向けた取り組み－ビデオ教材制作の試案－	10 月 13 日（水）
第 5 回	来年度シラバス作成に向けて	11 月 17 日（水）

第 6 回	ムービーメーカーを使った教材作成の試みー音に着目したビデオ教材の製作ー	12 月 8 日(水)
第 7 回	"子ども理解"を深めるICT の活用	12 月 8 日(水)

さらに、教職員合同の FD・SD 合同研修会として、自己点検評価全体研修会を 7 月 29 日(木)と、ウイルス感染症の予防について 12 月 2 日(水)年間 2 回実施した。本学教員の研修会での実践例をまとめ、「ICT 保育実践報告集」を発刊した。

②SD 研修の充実

SD 活動は、「岩国短期大学 SD 実施委員会規程」により、毎月 1 回の定例委員会を開催し、事務局の業務の見直しや事務処理の改善等、事務職員の能力開発等を行っている。さらに、学外研修参加後には、学内での報告会を実施し、情報の共有に努めている。SD 研修会は、事前に事務職員全員に対し、今後必要と思われるスキル等についてアンケートを行い、それを参考にしながら実施している。本年度の SD 研修会の実施状況は次のとおりである。

令和 3 年度 SD 研修会

月 日	研 修 内 容
4 月 30 日(金)	岩国短期大学事務職員としての立ち居振る舞い
5 月 14 日(金)	Office365 の活用によるリモートワークについて
8 月 19 日(木)	事務協議会のペーパーレス化について
8 月 25 日(水)	経営・財務状況等経営改善に関する説明会
9 月 15 日(水)	学生対応について
10 月 14 日(木)	入試受付業務について
11 月 18 日(木)	教務研修報告
1 月 13 日(木)	図書館システム研修報告
2 月 10 日(木)	窓口対応マニュアルの見直し

③教職員合同研修会の実施(SWOT 分析、財務状況説明会、ハラスメント研修会 等)

教職協働の観点から、本学の教育推進及び教職員の資質向上を目的として、教職員合同研修会を次のとおり実施した。なお、本年度も岩国短期大学・高水高等学校合同の「SWOT 分析」の研修を行った。

令和 3 年度教職員合同研修会

月 日	内 容
8 月 4 日(水)	自己点検・評価教職員全体研修会
8 月 5 日(木)	岩国短期大学・高水高等学校合同推進会議「SWOT 分析」
8 月 25 日(水)	経営・財務状況等経営改善に関する説明会
12 月 1 日(水)	ノロウイルス及び新型コロナウイスル感染症の予防について
2 月 15 日(火)	ハラスメント研修会

④自己点検・評価活動の推進(P-D-C-Aサイクルによる教育の質の保証)

・「学校運営方針」の策定と反省総括

本学では、科の教育活動組織及び教職員学内運営組織により、PDCA サイクルを用いて自己点検・評価活動に取り組んでいる。本年度は、昨年度の反省総括を踏まえ、年度初めに「学校運営方針」を策定し、具体的な実践を行った。各部、委員会等で、実施した結果のデータやステークホルダーによる評価などを収集、分析し、3 月に反省総括を行った。

・IR(Investor Relations)推進室の推進

本年度は、「学力の追跡調査」を行うこととし、データ収集と分析を行った。データ収集については GPA、欠席状況等を主なデータとし、分析については高校別、個人別集計・分析を行った。データ分析

の過程で、相関関係が導き出せなかったため、仮説を立て、それから必要となるデータ収集を行うこととした。退学者数や早期離職数に着目して追加データを収取・分析を行った。その結果、早期離職者はボランティア活動時間が少ないことが分かった。ほかのデータ分析についても引き続きデータを収集し、分析を続けていく。

(4)ICT(Information and Communication Technology)教育の推進

・ICT教育を活用した授業改善

昨年度作成した「岩国短期大学 ICT(情報通信技術)活用スキル習得プログラム」を推進し、活用スキルの向上と授業改善に取り組んでいる。基礎的な技術習得から、各専門分野の教員が、工夫を凝らし、保育教材の作成方法や現場で使える実例を提示することで、学生たちがパソコン等 ICT を活用し動画、スライド教材等の製作ができるようになった。このように ICT を活用した授業改善に取り組むことができた。

・「Web 版実習サポート」「Web版施設実習サポート」の活用

「Web 版実習サポート」として、専任教員が担当科目の演習ビデオを作成し、新型コロナウイルス感染症対策に活用した。学外での実習では、毎日の出勤状況を確認し、問題が生じた際には学生や実習先への速やかな対応ができた。また、学外実習が中止となり学内実習へと変更となったため、「Web 版実習サポート」の演習ビデオ等の活用と対面での授業を併用し、実施することができた。

・LINE を活用した就職支援の推進

キャリア支援センターでは、卒業後の就職支援に 3 年間 LINE を開設し、卒業後、気軽に相談できる窓口として活用している。また、早期離職防止対策で開講する「フォローアップセミナー」の案内や実施後アンケート結果の報告にも活用した。さらに「卒業後のアンケート」の連絡では、回答率向上につながり、今後の学校教育に反映していきたい。そのほかに、山口県立東部高等産業技術学校生への毎月の就業支援も LINE にて行い勤務時間に影響することなく確認することができた。

(5)感染症対策室の新設

・新型コロナウイルス感染症等への早期の対応

新型コロナウイルス感染症の対応を敏速に行うため、感染症対策室を新設し、「岩国短期大学新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」「新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン」を作成した。新型コロナウイルス感染症の不安を解消できるように、最新の情報提供や感染防止の啓発に取り組んだ。

感染症が広がらないように毎日の学内消毒を教職員で行い、体調不良者への早期対応として、抗原検査の実施等を全教職員で行えるような体制づくりを行った。全教室出入口には、アルコール消毒を設置し、飲食スペースの確保やアクリル板の設置など学生の感染予防の対策を行った。

また、新型コロナワクチン接種は、岩国市の集団接種に学生、教職員枠をお願いし、高水学園枠で、1. 2. 3 回のワクチン接種をスムーズに遂行できるように取り組んだ。

Ⅲ.令和 3 年度の具体的な事業報告(短期大学)

	主な学校行事	保育者養成の取り組み	就職支援の取り組み	地域貢献の取り組み	入学定員確保の取り組み
4 月	○入学式、保護者懇談会 ○オリエンテーション ○東部校訓練生入校式 ○非常勤講師会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	＊1・2年生合同集会	＊新入生合宿研修 ＊就職面談・面接指導 ＊就職ガイダンス	＊学生ボランティアの協力	＊指定校挨拶回り ＊幼児教育科「ホット・ニュース」発信

	○自己点検･評価運営委員会				
5月	○後援会理事会 ○理事会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会 ○岩国市長特別講義	＊Iwatan 親子広場 ＊絵本読み聞かせ指導 ＊絵本100冊読みの実施	＊就職ナビ in いわたん ＊就職面談・面接指導 ＊就職開拓訪問 ＊2年生就職試験対策講座	＊Iwatan 親子広場 ＊生涯学習公開講座 ＊高大連携協定校との連携推進会議	＊高校訪問 ＊幼児教育科「ホット･ニュース」発信 ＊高大連携授業
6月	○保護者懇談会 ○後援会総会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	＊1･2年生合同集会 ＊ようこそ先輩！保育実践力養成講座（保育所編） ＊教育実習Ⅱ ＊保育所見学実習	＊フォローアップセミナー ＊就職面談・面接指導 ＊2年生就職試験対策講座	＊生涯学習公開講	＊高校訪問 ＊幼児教育科「ホット･ニュース」発信 ＊高大連携授業 ＊オープンキャンパス ＊広報誌「愛宕山」発行
7月	○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会 ○自己点検･評価運営委員会 ○教職員全体研修会	＊Iwatan 親子広場 ＊「おもちゃおとどけ便」 ＊実習前学習（手遊び、パネルシアター等）	＊就職面談・面接指導 ＊現職園長による面接指導講座	＊Iwatan 親子広場 ＊学生ボランティアの協力 ＊生涯学習公開講	＊高校訪問 ＊幼児教育科「ホット･ニュース」発信 ＊高大連携授業 ＊オープンキャンパス
8月	○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会 ○短大･高水合同研修会	＊保育実習Ⅰ ＊施設見学実習 ＊学生自主実習	＊1年生就職活動対策講座 ＊就職面談･面接指導 ＊保育実習Ⅰ	＊学生ボランティアの協力 ＊保育者対象研修会 ＊卒業3年目研修会 ＊岩国市との連携推進会議	＊高校訪問 ＊幼児教育科「ホット･ニュース」発信 ＊高大連携授業 ＊オープンキャンパス
9月	○オリエンテーション ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○火災等防災訓練 ○運営委員会、各部会、委員会 ○FD研修会	＊Iwatan 親子広場	＊保育実習Ⅱ or Ⅲ	＊Iwatan 親子広場 ＊岩国商工会議所との連携推進会議	＊高校訪問 ＊高大連携授業 ＊オープンキャンパス
10月	○クリーン･プロジェクト ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	＊1･2年生合同集会 ＊Iwatan 親子広場 ＊ようこそ先輩！保育実戦力養成講座（幼稚園･認定こども編） ＊実習前学習（手遊び、パネルシアター等） ＊近隣幼稚園児との芋の収穫 ＊教育実習Ⅲ	＊就職面談・面接指導	＊Iwatan 親子広場 ＊学生ボランティアの協力	＊高校訪問 ＊幼児教育科「ホット･ニュース」発信 ＊高大連携授業 ＊オープンキャンパス
11月	○大学祭「清流祭」 ○親守詩大会 ○後援会理事会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	＊Iwatan 親子広場 ＊大学祭 ＊実習前学習（手遊び、パネルシアター等）	＊就職面談・面接指導	＊Iwatan 親子広場 ＊学生ボランティアの協力 ＊生涯学習公開講座	＊高校訪問 ＊幼児教育科「ホット･ニュース」発信 ＊高大連携授業
12月	○保護者懇談会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会	＊1･2年生合同集会 ＊教育実習Ⅰ	＊就職面談・面接指導 ＊卒業生就職先	＊学生ボランティアの協力 ＊第11回	＊高校訪問 ＊幼児教育科「ホット･ニュー

	○運営委員会、各部会、委員会 ○ノロウイルス対策研修会	＊Iwatan 親子広場 ＊ウィンター・コンサート ＊1･2 年生合同模擬保育 ＊プレカレッジ ＊ようこそ先輩！保育実践力養成講座（施設編）	アンケート	iwatan 親子フェスタ協賛依頼	ス」発信 ＊高大連携授業 ＊オープンキャンパス
1 月	○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会	＊1･2 年生合同集会 ＊施設実習連絡協議会 ＊保育・教職実践演習研究発表会	＊就職面談・面接指導	＊学生ボランティアの協力	＊高校訪問 ＊高大連携授業 ＊オリジナル缶バッジの制作
2 月	○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、 ○自己点検･評価運営委員会 委員会 ○ハラスメント研修会	＊プレカレッジ ＊施設実習 ＊学生自主実習	＊1 年生就職活動対策講座 ＊就職面談・面接指導		＊高校訪問 ＊高大連携授業
3 月	○研究紀要の発行 ○学位記授与式 ○東部校訓練生退校式 ○同窓会入会式 ○理事会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営委員会、各部会、委員会 ○自己点検･評価運営委員会 ○自己点検･評価委員会 ○事業計画の総括と改善 ○自己点検･評価報告書の作成 ○アカデミー報告書の作成	＊プレカレッジ ＊卒業記念コンサート ＊学生自主実習 ＊第 11 回 Iwatan 親子フェスタ	＊就職面談・面接指導	＊学生ボランティアの協力 ＊第 11 回 Iwatan 親子フェスタ ＊宮川澳男賞、地域貢献奨励賞表彰 ＊アカデミー実行委員会 ＊アカデミー報告書作成 ＊高大連携協定校との連携推進会議	＊高校訪問 ＊高大連携授業 ＊オープンキャンパス ＊広報誌「愛宕山」発行

■【高等学校】

Ⅰ　事業報告

今年度も依然として新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、一部学校行事の縮小や中止を余儀なくさせられた。そういった中、昨年度は中止した運動会や普通科 2 年生の修学旅行はなんとか実施できた。しかし、姉妹校との国際交流については、海外渡航が正常化しない限り休止状態は続きそうである。

授業については、昨年度は 1 カ月以上臨時休業したが、今年度はほぼ予定通り実施できた。

今年度については、次の 5 項目が成果として挙げられる。

（1）ICTに関しては、以下のような取り組みを行い、教員研修を計画通り実施してICTに関してのスキルを向上することができた。

①岩国市内の中学校のICT研究校への教員派遣

②県外のICT先進校（4 校）への視察

③情報専門学校講師によるグーグルクラスルームとグーグルホームの活用と運用

（2）上記の成果を踏まえ、臨時休業中におけるオンライン授業の活用が図られた。

（3）スタディサプリを活用しながら家庭学習の習慣化が図られてきた。

(4)新学習指導要領における指導と評価の一体化を図るための観点別評価について、方針が決定した。

(5)六年制普通科では「総合的な探究の時間」に異学年による協働学習の取り組みを実施し、この方面での付属中との一貫体制が整った。

広報活動においては、オープンスクールを 2 回から 3 回にして、参加者の増加を図った。

今年度の取り組みについての詳細は、次の事業内容に記す。

Ⅱ 事業内容

1. 3 つの保障(人間性・基礎学力・進路)に対して以下の取り組みを行った。昨年度に引き続き、コロナ防止基本対策を講じながら実施した。

(1)学力の保障

①教員研修 年 5 回(1 学期 2 回、2 学期 3 回)

・特別支援教室 ・ICTスキルの向上(2 回) ・スタディサプリの研修 ・防災研修

②教科会議 原則、毎週 1 回、英・数・国・社・理・保健・芸術・家庭科で実施。

③教員相互授業参観 2 回(1・2 学期)実施

(2)人間性の保障 特別活動(生徒会活動・学校行事)や部活動を通した取り組みを実施

①運動会 9 月 5 日(日)

②楽学祭 9 月 21 日～22 日 テーマ「Breakthrough みんなで乗り越える」

※保護者参観なしで実施

③修学旅行

○普通科 2 年生修学旅行 3 月 7 日～10 日、関東方面を変更して山口、西九州

○六年制普通科 2 年生 10 月 25 日～29 日、行先(オーストラリア)を変更するとともに、1 年延期して北陸、信州方面

④挨拶・無遅刻無欠席運動週間 楽学石碑前、南岩国駅前で各学期 3 回実施予定であったがコロナ禍のため中止

⑤普通科 1 年生インターンシップ(11 月 10 日)

⑥部活動

○全国高等学校総合体育大会 7 月 24 日(土)～8 月 24 日(火)

◇男子バスケ ◇女子ハンド ◇空手道部 ◇柔道部 ◇陸上部◇水泳部

○NHK 杯全国高校放送コンテスト 放送部 アナウンス部門出場

○春の選抜大会 ◇団体:女子ハンドボール部 ◇個人:空手道部・柔道部

(3)進路の保障

①進路指導 ○外部模試の活用 進研、全統、駿台模試を実施 ○模試検討会 3 回

②進路研修会 ○高校保護者対象:各学年 2 回 ○生徒対象:各学年 2 回実施。

③就職:就職模試(2 回)、就職ガイダンス(夏季休業中)を実施

＊令和3年度卒業生(174 名)の進路

・進学者 105 名(4 年制大学 58、短期大学 13 名、専門学校 34 名)、浪人生2名

・就職者 52 名(公務員 12 名、民間 40 名)、家居(未定者)8 名

・職業訓練校 7 名

2. 学校関係者評価委員会を開催し外部委員 5 名から指導・助言を得た。

○今年度外部委員:

PTA:三浦留美、企業:長野英彦、中礒和子、教育界:弘中華雄 、地域:山根修司の 5 名。

○各学期開催(年 3 回) 6 月 3 日、11 月 11 日、3 月 17 日

3 月に自己評価書を理事会に提出し、次年度の改善策を検討した。

3. グローバル化・異文化理解に向けた下記の予定をコロナ禍のため中止した。
　○カナダ、ポールケイン高校との短期交換研修プログラム

4. 広報活動については各科の入試に向けて、広報活動を展開した。
　○六年制普通科：一般入試 1 月 10 日
　○普通科：特別・推薦入試 1 月 8 日、一般入試 1 月 27 日
（1）中学校への進路説明会（学校長で対応）
　時期　6 月 4 日～7 月 8 日
　対象　岩国市内の中学校 11 校、大島中、柳井中、上関中　計 14 校
（2）中学校訪問
　○第 1 回　7 月 7 日～　4 地区（市内、玖西、柳井以西、広島西地区）計 33 校へ、教頭と科長を派遣
　　⇒次年度の入試について、学校案内、オープンスクールへの案内
　○第 2 回 12 月 3 日～　市内 6 校に各 2 名ずつ教員を派遣
　　⇒今年度入試の情報収集と入学生の情報と意見交換
（3）中学校教員対象進路説明会
　　9 月 8 日　岩国市内、柳井・大島地区、西広島地区から 26 校参加
（4）塾対象説明会
　　9 月 9 日　岩国市内、柳井、広島市地区から 19 名参加
（5）オープンスクールの開催（8 月・10 月・11 月）
　○第 1 回オープンスクール　8 月 6 日（金）・7 日（土）　参加者：生徒　約 400 名、保護者等　約 115 名
　　内容　①授業体験講座　②クラブ見学・クラブ体験　③校内見学
　○第 2 回オープンスクール　10 月 16 日（土）　参加者：生徒　115 名、保護者等　15 名
　　内容　①短大体験講座　②クラブ見学・クラブ体験　③校内見学
　○第 3 回オープンスクール　11 月 3 日（水）　参加者：生徒 34 名　保護者等 19 名
　　内容　①入試対策講義　②校内見学　③クラブ体験
（6）その他
　○長唄三味線発表会はコロナ禍のため一旦延期し、3 月 20 日本校で保護者の観覧限定で開催

■【付属中学校】
Ⅰ　事業報告
　教育基本法の教育の目的と目標の達成を主軸にこれからの時代と社会に必要な教育として、次の2点を掲げ、実践した。

1. 志を育む教育
　各教科、特別活動等も含め教育のあらゆる場面に、問題点を発見し課題としてまとめる能力および、その課題を解決していく能力を高めるためにできるだけ探究学習を取り入れるよう促してきた。
2. 多様性社会を生み出す教育
　急激なAI化、グローバル化、少子高齢化によって多様性社会の実現は急務である。ところが、今年度もコロナ禍によって、このような社会を目指す教育に暗雲が垂れ込めている。「新しい生活様式」によって、グループ学習や意見発表、プレゼンによる課題の共有等、協働学習が大きく阻害された。また、校外活動と交流は、ことごとく中止ないし縮小という事態は今年度も続いている。こういった不自由な状況の中で、台湾台北市の健成国民中学校との友好親善の意向書交換やオーストラリア姉妹校

サザンクロス校とのオンラインによる授業交流、コロナ禍で中止とはなったが、米軍岩国基地内の岩国中学校との学校交流の企画等、次につながる前向きな取り組みも行えた。

3. ICT活用による授業の高度化

昨年度、国の補助事業によって校内RANとICT機器が充実し、今年度、生徒の一人一台タブレットの活用が飛躍的に高まった。コロナ禍以前から本校はICT教育に投資し、この分野で他校より先行してきた。しかし今や公立校も同じ土俵に乗り、これからはいかに有効な活用ができるかという点で、真価が問われる。今年度は教員のスキルアップへの取り組みにおいて、高校の部で報告したとおり、大きな成果を得たと考えている。

今年度の具体的な取り組みについては、次の事業内容に記す。

Ⅱ 事業内容

1. (学力・進路面、生活・情操面)に対して以下の取り組みを行った。昨年度に引き続き、コロナ防止基本対策を講じながら実施した。

(1)学力・進路面

①全体の教員研修 年5回(1学期2回、2学期3回)

・特別支援教室 ・ICTスキルの向上(2回) ・「スタディサプリ」の研修 ・防災研修

②個別最適学習の研究

・「すらら」の研修

②教科会議 原則、毎週1回、英・数・国・社・理・保健・芸術・家庭科で実施

③教員相互授業参観2回(1・2学期)実施

④オンライン研修会への参加

・コロナ禍、参加型の研修会は次々と中止となる中、その代替えとしてオンライン研修会が開催されたので、できるだけ教員参加を促した。

⑤外部模試による客観的な学力把握

・学力推移調査:各学年春夏冬3回、全員受験。模試検討会は教科会で代替え。

⑥「楽学テスト」年3回(6月・8月・1月)実施

・大学受験時に必要な基礎知識・スキルの習得を前提に5年間かけて英語・数学・国語科で習得範囲とレベルを決めて、実施。

(2)生活・情操面 特別活動(生徒会活動・学校行事)や部活動、郊外活動を通した取り組みを実施

①運動会 9月5日(日) 規模を縮小し、午前中までで実施。

②楽学祭 9月21日～22日 テーマ「Breakthrough みんなで乗り越える」高校企画に合わせて参加。※保護者参観なし

③中六合同発表会 2月19日開催。※保護者参観なし

今年度は中高ともに学年の枠を超えた異学年で構成されるグループをつくり、各班が独自にテーマを決め、探求学習を行い、その成果を発表会でプレゼンし、皆で共有した。

④その他の学校行事

○英語暗唱大会 9月8日、○30キロ遠足 11月 2日、○百人一首カルタ大会 3月22日

○中六講演会 11月1日高山良二氏(カンボジア地雷撤去の平和活動家)

予定日前後のコロナ感染状況を勘案しながら、何とかすべて実施。伝統行事は絶やさず、先輩から後輩へ受け継がせることが運営上必要不可欠。

⑤学年行事を楽しむ:1学期に予定されたものはすべて中止

・1年:高水訪問中止、スプリングセミナー4月13日実施。

・2年：史跡めぐり中止、サマーセミナー8 月 5 日～7 日、14歳新たな誓い 3 月 10 日実施。
・3年：オータムセミナー10 月 22 日、岩国空襲を巡る平和学習を特別企画実施。

⑥ユネスコスクール高水の推進

・地域貢献としてのボランティア活動：11 月 7 日、愛宕地区社福の皆さんと共同で清掃活動を実施。
・岩国ユネスコ協会との連携：コロナ禍で実働なし。
・国際理解と国際協力のための作文コンクール等への参加：全国大会金賞受賞
・海外姉妹校との交流プログラム（ホームステイ）：実施できず
・台湾台北市健成国民中学校と友好親善交流の意向書を交換：6月9日

⑦部活動の活性化

・コロナ禍で時短を余儀なくされ、1学期と3学期の対外試合は中止となった。

2. 広報活動（入学定員確保）

①「楽学フェスタ 2021」（オープンスクール）にについて

○第 1 回　7 月 10 日（土）実施
38 組 89 名　内参加児童 38 名（ 6 年生 17 名、5 年生 18 名 ）
○第2回楽学フェスタ　8 月 29 日（日）コロナ感染拡大にて中止
30 組申込・参加予定児童 30 名（ 6 年生 11 名、5 年生 16 名 ）
・プログラム　ⅰ生徒会による学校紹介　ⅱ模擬授業体験　ⅲ質問コーナー

②小学校訪問

・周南市～五日市市の約８０校を訪問、学校長に挨拶
・5月中旬　「楽学フェスタ」の紹介と出身生徒の現状報告
・8月下旬　入試説明会の紹介と次年度入試につい

③学習塾訪問 コロナ禍のため、一部を除き実施せず

④入試説明会

・第 1 回開催　10 月 9 日（土）
・第 2 回開催　11月 5 日（金）

Ⅲ. 主な施設・設備整備事業の概要

【法人】

○学園全体で、学内の補修と修繕及び新設事業を行った。

【短期大学】

○施設整備の補修や修繕計画を立案し、実施に向けて計画書を作成する。
○岩国短期大学の水道管の緊急復旧工事を実施した。
○岩国短期大学の教育環境の充実を図った。
○コロナ対策として、全館授業後の消毒作業及びアルコール消毒器、アクリル板設置の購入。

【高等学校・付属中学校】

○コロナ対策：自動検温器・アルコール消毒器・アクリル板設置。
○施設整備の補修や修繕計画を立案し、実施に向けて計画書を作成した。

Ⅳ. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況

特定資産（土地等購入引当特定資産）は無となった。

② 収支計算書の状況

入学生が見込み値を下回ったため、収入の増加が得られなかった。

(2) 経年比較 （単位：千円）

	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
固定資産	4,344,023	4,248,559	4,130,271	4,014,189	3,901,714
流動資産	462,418	449,508	545,777	469,581	452,119
資産の部合計	4,806,441	4,698,067	4,676,048	4,483,770	4,353,833
固定負債	181,598	181,081	174,124	167,864	160,963
流動負債	133,513	86,796	168,241	99,486	121,813
負債の部合計	315,111	267,877	342,365	267,350	282,776
基本金	4,644,541	4,635,437	4,628,942	4,634,093	4,580,058
繰越収支差額	△ 153,211	△ 205,247	△ 295,259	△ 417,672	△ 509,001
純資産の部合計	4,491,330	4,430,190	4,333,683	4,216,421	4,071,057
負債及び純資産の部合計	4,806,441	4,698,067	4,676,048	4,483,771	4,353,833

② 収支計算書

ア）資金収支計算書

収入の部	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学生生徒等納付金収入	422,733	427,488	380,606	395,442	363,906
手数料収入	23,444	21,089	21,532	19,191	20,022
寄付金収入	25,354	17,653	14,668	5,026	5,884
補助金収入	322,811	319,412	279,706	304,276	262,033
資産売却収入	0	0	300	0	0
付随事業・収益事業収入	28,356	23,050	19,597	17,789	15,693
受取利息・配当金収入	3,280	2,306	2,614	2,359	3,714
雑収入	71,181	37,336	110,057	49,187	68,317
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	49,635	42,223	45,895	37,663	39,719
その他の収入	101,851	109,284	116,540	164,543	118,439
資金収入調整勘定	△ 137,017	△ 87,957	△ 166,467	△ 149,626	△ 119,509
前年度繰越支払資金	394,147	367,662	410,441	416,929	362,268
収入の部合計	1,305,775	1,279,546	1,235,489	1,262,779	1,140,486

支出の部	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費支出	699,397	636,051	715,584	631,110	634,041
教育研究経費支出	166,986	132,484	106,695	142,805	126,688
管理経費支出	28,477	46,656	28,700	28,938	27,215
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	49,838	9,558	1,752	4,235	0
設備関係支出	1,999	5,294	5,667	7,702	8,313
資産運用支出	1,940	500	33,334	26,221	400
その他の支出	65,662	76,188	41,638	115,309	54,786
資金支出調整勘定	△ 76,186	△ 37,627	△ 114,808	△ 55,809	△ 75,621
翌年度繰越支払資金	367,662	410,442	416,929	362,269	364,664
支出の部合計	1,305,775	1,279,546	1,235,491	1,262,780	1,140,486

イ）活動区分資金収支計算書

科目	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	858,430	841,036	823,507	756,591	732,832
教育活動資金支出計	894,860	815,191	850,979	802,853	787,945
差引	△ 36,430	25,845	△ 27,472	△ 46,262	△ 55,113
調整勘定等	△ 8,597	8,975	△ 4,325	△ 14,420	19,493
教育活動資金収支差額	△ 45,027	34,820	△ 31,797	△ 60,682	△ 35,620
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	65,450	19,991	29,960	52,321	13,023
施設整備等活動資金支出計	51,837	14,851	7,419	11,937	8,314
差引	13,613	5,139	22,541	40,384	4,709
調整勘定等	744	744	△ 4,604	△ 32,298	22,233
施設整備等活動資金収支差額	14,357	5,883	17,937	8,086	26,942
小計（教育活動資金収支差額・設備整備等活動資金収支差額）	△ 30,670	40,703	△ 13,860	△ 52,596	△ 8,678
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	6,125	3,322	53,832	24,657	11,472
その他の活動資金支出計	1,940	1,246	33,485	26,722	400
差引	4,185	2,076	20,347	△ 2,065	11,072
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	4,185	2,076	20,347	△ 2,065	11,072
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	△ 26,485	42,779	6,487	△ 54,661	2,394
前年度繰越支払資金	394,147	367,662	410,441	416,929	362,269
翌年度繰越支払資金	367,662	410,441	416,929	362,269	364,664

ウ）事業活動収支計算書

科目		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	422,733	427,488	380,606	395,442	363,906
	手数料	23,444	21,088	21,532	19,191	20,022
	寄付金	23,344	16,021	12,710	4,767	5,444
	経常費等補助金	289,531	316,208	279,206	270,455	259,510
	付随事業収入	28,356	23,050	19,597	17,789	15,693
	雑収入	71,181	38,310	110,057	49,187	70,717
	教育活動収入計	858,589	842,165	823,708	756,831	735,292
	事業活動支出の部					
	人件費	699,076	636,472	708,626	624,850	629,541
	教育研究経費	261,143	211,411	183,989	219,126	203,412
	管理経費	31,970	50,127	32,170	32,525	30,624
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	992,189	898,010	924,785	876,501	863,577
	教育活動収支差額	△ 133,600	△ 55,845	△ 101,077	△ 119,670	△ 128,285
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	3,280	2,306	2,614	2,358	3,714
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	3,280	2,306	2,614	2,358	3,714
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額	3,280	2,306	2,614	2,358	3,714
	経常収支差額	△ 130,320	△ 53,539	△ 98,463	△ 117,312	△ 124,571
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	0	173	0	0
	その他の特別収入	35,561	5,525	2,825	34,559	3,023
	特別収入計	35,561	5,525	2,998	34,559	3,023
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	9,298	13,126	1,042	34,511	23,815
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出計	9,298	13,126	1,042	34,511	23,815
	特別収支差額	26,263	△ 7,601	1,956	48	△ 20,792
基本金組入前当年度収支差額		△ 104,056	△ 61,141	△ 96,507	△ 117,262	△ 145,364
基本金組入額合計		△ 37,312	△ 8,204	△ 1,163	△ 5,151	△ 5,954
当年度収支差額		△ 141,368	△ 69,345	△ 97,670	△ 122,413	△ 151,318
前年度繰越収支差額		△ 11,865	△ 153,210	△ 205,248	△ 295,259	△ 417,672
基本金取崩額		23	17,308	7,658	0	59,990
翌年度繰越収支差額		△ 153,210	△ 205,247	△ 295,259	△ 417,672	△ 509,001
事業活動収入計		849,996	828,196	829,320	793,748	742,029
事業活動支出計		911,136	911,137	925,827	911,012	887,392

(4)　その他

① 有価証券の状況

西中国信用金庫の発行券を、35,000円分保持する。

② 借入金の状況

なし

③ 学校債の状況

なし

④ 寄付金の状況

教育振興寄付金募集により、個人からの寄付金として3,635,880円を獲得、法人からの寄付金として1,210,000円獲得した。

⑤ 補助金の状況

恒常的な補助金に加え、「伝染病まん延防止」 及び 「ICT教育の強化」等が得られた。

⑥ 収益事業の状況

なし

⑦ 関連当事者等との取引の状況

ア）関連当事者

あり（100万円未満の賃料のため、取引の重要性を判断する際の取引基準に該当しない。）

イ）出資会社

なし

⑧ 学校法人間取引

なし